



爽 緑

銚子市立明神小学校学校便り
VOL.20 令和6年1月9日

令和5年度 学校教育目標 「心豊かに自律できる子どもの育成」 ~かしこく やさしく たくましい 明神っ子~
『学校は子どもにとってワクワク・ドキドキできる場所』

新年あけましておめでとうございます。

令和6年は十干では甲、十二支では辰にあたるため甲辰（きのえたつ）の年となります。物事の始まりと捉えることのできる「甲」と自然万物が振動し、勢いと大きな力、成功と捉えることができる「辰」、この2つが合わさる甲辰は、「新しいことに挑戦して成功する」「今まで積み重ねてきたものが形となる」年だと言われています。

今年も明神小学校では、子供たちの「やってみたい!」「やってみよう!」を大切に、職員も子供たちと一緒に「学び」を楽しみながら教育活動に取り組んでまいります。

本年も、保護者、地域の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



3 学期始業式

17日間の冬休みを終えて、学校に子供たちの笑顔が戻ってきました。

始業式では、私が年末年始に家族で帰省した際に、とても親切に対応してくださった空港職員の方についてのお話をしました。

出発日に紛失したと思われるハンカチについて、数日後の帰着日に尋ねると、担当者の方が、

「今ここには、落とし物のハンカチはありません。正直探すのは難しいかもしれません。」「でもそのハンカチは、息子さんにとって思い入れのある大切なハンカチなんですよ。少々お時間をいただけますか。いくつか問い合わせてみます。」といて関係各所に連絡を取ってくださり、そのハンカチを探し出してくれたのです。さらに私たちがお礼を伝えると、「大切なハンカチが戻ってきて本当に良かったですね。」と笑顔で語りかけ、また担当場所に戻って行かれました。

このエピソードをもとに、次の2つのことについてお話をしました。



① 大切なもの、大切なこと、考えは人それぞれ違うもの。だからこそ他人が大切にしているものや、大切にしていること、考えを、自分のことのように大切にできる人になってほしい。もし、考えの違う友達がいても、その考えを大切にしたら上で話し合ったり、反対意見を言ったりしてほしい。

② 困っている友達や、助けを求めている友達がいたら、自分にできることでよいので、その人のために、その人の喜ぶ顔が見たいという気持ちで、行動できる人になってほしい。



『誰かのため、誰かの喜ぶ顔のためは、実は自分のため、自分の喜ぶ顔のためにつながります。』

ワンポイント避難訓練

1月1日に石川県能登半島地方を震源とする、M7.6、最大震度7の大規模地震により多くの方がお亡くなりになり、今この瞬間にも懸命な救助活動と復旧作業が行われています。被災された皆様のことを思うととても胸が痛くなります。心よりお見舞い申し上げます。

地震などの自然災害は「いつ、どこで起こるか分からない。」「我々人間には防ぎようがないもの。」です。だからこそ、日頃から自分の命を守るための、大切な人の命を守るための「心構え」「準備」「訓練」をしっかりと行っていくことが大切であると考えます。

今回は始業式後の体育館で、地震を想定した避難訓練を行いました。子供たちは真剣な態度で訓練に臨んでいました。